

第2次子ども読書活動推進計画に関する進捗状況

①市立図書館の子ども向け図書・資料を充実させます。

- ・児童書の資料費の状況（下表）
- ・市の予算としての図書購入費総額は2014年度から2017年度まで4年間現状維持。
- ・2018年度で500,000円の減額となった。
- ・大阪府子育て支援交付金特別枠は2016年度に大幅縮小。

年度	予算額（市総額）	大阪府子育て支援交付金 （うち図書費）	図書購入費合計	児童書				
				うち児童書購入費 決算額	児童書購 入冊数	購入費にお ける児童書 の比率	個人貸出 冊数	団体貸出 冊数
2014 平成26	17,700,000	2,429,758	20,129,758	7,299,648	4,773	36.3%	305,352	42,563
2015 平成27	17,700,000	2,429,981	20,129,981	6,935,244	4,620	34.5%	324,302	45,637
2016 平成28	17,700,000	161,557	17,861,557	6,058,827	4,137	33.9%	314,066	47,936
2017 平成29	17,700,000	112,968	17,812,968	5,651,929	3,840	31.7%	313,835	42,690
2018 平成30	17,200,000	※ 0	17,200,000	5,425,850	3,738	31.5%	296,887	46,400

※平成30年度は備品に充当

②読書離れの目立つ中・高校生の利用を促進します。

- ・職業体験の中学生に図書館利用を促す声かけ
- ・入館して目立つ位置にティーンズコーナーを設置（陵南の森）
 - 定期的にコーナーの本を入替
 - コーナーとしてイベント実施
 - ティーンズコーナー限定おたのしみ袋
- ・高校生への直接的はたらきかけはできていない。

③セット貸出を含む団体貸出を推進します。

- ・たけのこくんブックボックスによる貸出を2010年度より開始
 - 幼稚園・保育園・学級文庫・留守家庭児童会などに1セット約50～100冊の図書を長期（1学期程度）貸出するもの。
- ・2016年度大阪府子育て支援交付金でコンテナ50箱を補充。学校、留守家庭児童会への貸出に使用

実績	2015 (H27)	41 団体	7,993 冊
	2016 (H28)	59 団体	11,850 冊
	2017 (H29)	56 団体	8,440 冊
	2018 (H30)	75 団体	11,854 冊

④子ども読書に関わるボランティアの育成と活動支援を行います。

- ・関係団体の協力により、毎年入門講座を実施。

⑤学校・園の資料充実を図ります。

⑥子どもの読書活動推進に必要な体制の充実に努め、研修を実施し、各施策を進めることができる職員を育成します。

- ・研修・職員の養成の状況→「事前資料 5」のとおり
- ・2016（平成 28）年度から太子連の児童文化講座を受講するための予算を新たに確保した。1 名ずつ交替の体制で参加して研鑽を積んでいる。また、個人でも研修や講座に参加している。
- ・職員体制については図書館協議会や子ども文庫連絡会からの要望書でもご心配いただいている。直近では今年 1 月に人事課とのヒアリングで、正規職員の増員、司書職員の定年対応について要望した。

⑦市立図書館と学校との連携を強化します。

- ・連絡車の週 2 回運行、団体貸出・調べ学習用セット資料の貸出、学校からのレファレンスに対応
- ・学校司書会への市立図書館職員の出席
- ・イベントの共同開催 読書月間スタンプラリー、ブックリストの作成

⑧関係機関の連携の輪を広げます。

- ・子ども文庫 図書購入費の補助、講演会・講座の共催

子ども文庫への補助実績

2014 (H26)	145 冊	185,373 円
2015 (H27)	141 冊	191,907 円
2016 (H28)	134 冊	179,572 円
2017 (H29)	118 冊	163,483 円
2018 (H30)	130 冊	189,087 円

- ・おはなしボランティア：図書館おはなし会の実施、入門講座の開催
- ・保健センター：赤ちゃんの 4 ヶ月検診時に利用案内、ブックリスト、貸出申込書などを配布
- ・留守家庭児童会：団体貸出のほか、図書館の除籍本・寄贈本の譲渡

○その他

- ・大阪府地域福祉・子育て支援交付金（特別枠）の活用
- ・行事・イベントの実施（内容は「図書館業務活動報告書」のとおり）